

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）
開催日時	平成23年3月18日（金曜日）午後4時30分から午後5時15分
開催場所	保谷庁舎4階 研修室
出席者	委員：濱崎議長、松嶋副議長、岡村委員、小川委員、倉島委員、齋藤委員、白木委員、須永委員、本田委員、本領委員、宮崎委員（五十音順） （欠席：稲葉委員、山田委員） 事務局：神田係長、山中主事
議題	(1) 提言について (2) その他
配布資料	1 提言「全員参加の地域づくりについて 地域づくりを進めるためのネットワークづくりについて」追加案文 2 人材（講師・指導者）情報提供事業の利用について 3 今後の提言策定スケジュール 案 ・社教連会報 No. 68号 ・みんなの生涯学習 No. 103号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>平成23年2月定例会議の会議録を承認する。</p> <p>(1) 提言について</p> <p>1. 研修会の感想</p> <p>○議長： 今日の研修会の感想をお一人ずつお願いします。</p> <p>○委員： 岸先生が体験してきたことを話していただいた。すごく聞きやすくて良かった。私も少年野球の指導を長年やっているが、共通する点もあり、取り入れやすかった。今日は意義のある研修会だった。</p> <p>○委員： 行事をやって、次の世代につなぐというときに、名簿をつくるなど、出てきてくれた人をうまく取り込む方法を教わった。一見興味がなさそうな人でも、実際は、興味を持って来ているのだから、積極的にこちらから人材を取り込まないといけないと思った。</p> <p>○委員：</p>	

事前に岸先生の著書を読んで話をうかがったが、圧倒された。岸先生は、緻密で周到な準備と大胆な実行力でもって、人を巻き込んでいく力があると思った。

○委員：

大変勉強になった。父親を呼び込むコツを学んだ。

○委員：

岸先生の継続性のあるやり方に感心した。うらやんでばかりもいられないので、今あるヒト・モノを融合して頑張っていけたら良いと思った。

○委員：

ギブアンドテイクだけの関係ではなく、Win&Winの関係であるということで、私たちは人脈を交換する立場にもあるし、培ってきた地域性というものも活かしていけるのではないかと思う。Win&Winの関係を苦とせず作っていけたら良いと思う。

○委員：

子どもたちが戻ってくるまちを作るという目的があって、先生の行動力があると感じた。目的意識を一つにして皆で動かないとなかなか先に進めないと思った。先生のお人柄でうまく人を巻き込めると感じたが、そういう力を持っている人はなかなかいない。リーダーは必要だと思った。

○委員：

岸先生のお人柄もあってあれだけ活動が広がっていったということ、しらうめネットワークの高橋さんのご尽力されている姿などを思い起こし、とても勉強になった。これからのことを考えると、今頑張っている人たちで、一人ひとり声をかけてお誘いしていくことも大事だと思う。西東京市は、人口は増えているが、一人世帯が増えているという問題もある。全国平均より世帯の人数が少ないということなので、西東京市にふさわしいネットワークづくりが必要だと思った。

○委員：

長続きさせるには楽しみがないといけないと思った。西東京市は、活動が母親中心であって、まだまだ改善の余地があると思った。親父力を取り入れることによって、活動が豊かになるのではないかと思った。

○委員：

男性は若い時から地域とつながっていないと、年をとってからだとなかなか地域にとけこめないと思った。岸先生は広告関係のお仕事をされているので、相手がどのような事を思っているかということを取り入れて、活動をされていったと思う。私たちも、社会教育委員として、どのように活動していったら良いかということ具体的に色々と考えていけば良いと思った。

## 2. 提言追加案文について

○議長：

配布資料1の提言の追加案文について、何かご意見はありますか。

○事務局：

提言全体のイメージとしては、前回会議の第1稿案文での章立てでおおむね了承していただいたと思う。今回は、それをもとに、その中身を少しずつ完成させていくということでは、資料1の追加案文のとおり、調査活動の章の地域生涯学習事業の部分と考察の部分について本田委員と白木委員に案文を作成していただいた。

○委員：

多少手を入れる必要はあると思うが、量的にはこのくらいで良いと思う。

### 3. 今後の作成スケジュールについて

○事務局：

今後の提言の策定作業については、配布資料3「今後の提言策定スケジュール案」のとおり、定例会議での検討の他、編集会議を開いて、定例会に提案していく下準備の作業をしていく必要があると思う。次回の編集会議は、3月28日の午前10時から保谷庁舎3階第2会議室で予定している。その際、第1稿と今回の追加案文を一体化する作業を行ない、4月定例会に提案する原稿を作成していただきたいと思う。編集会議で原稿案を練り直ししていただいて、定例会で調整、確定していくという作業を積み重ねていって、最終的には、6月の定例会で最終確認をして提出という流れになると思う。内容が不足しているとか、議論が深まらないということがあれば、どこかで臨時会を設定して作業をしていくということになると思う。

○議長：

スケジュールについてはこの流れでよろしいか。また、次回定例会に向けた原稿案作成について、正副議長、齋藤委員、須永委員の編集会議に一任するというところでよろしいでしょうか。

○全委員：

異議なし。

#### (2) その他

##### 1. 平成23年度社連協定期総会への参加について

- ・日時：4月16日（土曜日）午後1時～
- ・場所：武蔵村山市民会館
- ・内容：総会および研修会
- ・研修会テーマ：「学びあい育ちあい、関わりあう地域をつくる 地域を包み込むネットワークづくり」
- ・参加予定：濱崎委員・小川委員・倉島委員・齋藤委員・須永委員

##### 2. 人材情報提供事業の利用について

○事務局：

資料2の「人材（講師・指導者）情報提供事業の利用について」だが、地域の中でこ

うということが教えられるという方にお申し出をいただいて、地域人材として登録し、市民や団体に紹介をしている。人材情報の活用は、生涯学習推進計画でも推進事業の一つとなっている。今回、活用の促進を図るために、登録された方に具体的な講座を提案していただき、その情報も併せて取りまとめた。学校や学校施設開放運営協議会への周知、市ホームページへの掲載など、広くPRをしている。社会教育委員の皆様にも人材情報への登録、活用、紹介等ご協力をお願いしたい。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（3月定例会）は終了する。

次回会議

平成23年4月15日（金曜日）午後2時から